

コラム④ 「舌下免疫療法」について

～「アレルギー性鼻炎を根治させる」可能性のある治療です！

前回コラム③では、「アレルギー性鼻炎は、自然に治らないことが多い」とお話ししました。

また、従来の「抗アレルギー薬の内服、点鼻」や「手術療法」も、残念ながら「対症療法」となり、「現在鼻で起こっているアレルギー反応をおさえる」、またあるいは「アレルギー性鼻炎の症状をやわらげる」のが目的となります。

これらは、真の意味で、「アレルギー性鼻炎を治す」治療ではないのです。

これに対して、これからお話しする「舌下免疫療法（ぜっかめんえきりょうほう）」は、「真の意味」で「アレルギー性鼻炎を治す＝根治できる」可能性のある治療となります。

私は前任病院でこの治療を開始し、当院での施行も含め、県内有数の症例数の治療を行っております。

それでは、ご紹介していきますね。

「舌下免疫療法」とは、「アレルギー免疫療法」の一種です。

アレルギー免疫療法とは、アレルギーを少量から投与することで体をアレルギーに慣らし、症状を和らげたり、根本的な体質改善が期待できる治療法です。

つまり、アレルギー鼻炎の症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる可能性のある治療法となります。

なおアレルギーとは、「アレルギーを起こす原因物質」のことであり、ダニアレルギーであれば「ダニ」、スギの花粉症であれば「スギ花粉」のことです。

2014年秋に最初の治療薬が発売され、現在、病院で処方できる薬としては、「ダニ」および「スギ花粉」の、2種類のアレルゲンに対するものとなります。

もちろん、保険適応があります。

1か月の薬代は、保険3割で2000円程度です。（診察料を除く）

なお「ハウスダスト」もアレルギー性鼻炎のアレルゲンとして有名ですが、これはもともと、「ホコリ」の他に「ダニ」、「カビの孢子」が混合されたものであり、この中では「ダニ」がアレルギーの発症に一番影響していることが知られています。

またスギ花粉症の方は、「ヒノキ花粉」にもあわせてアレルギー反応がある事が多いですが、これはスギとヒノキの「花粉の形が似ている」のが原因です。

よって、「ダニ」の薬は「ハウスダスト」にも、「スギ花粉」の薬は「ヒノキ花粉」にも、一定の効果が見込めます。

現在適応症は、「アレルギー性鼻炎」のみとなります。

しかし、同じタイプのアレルギーである、「気管支喘息」や「アトピー性皮膚炎」にも一定の効果があると考えられており、実際、海外では喘息にも治療適応があります。

日本においても、当初は喘息の薬としても認可が予定されていましたが、結局見送られたようです。

治療開始可能年齢は、5歳～65歳です。

66歳以上も「禁忌」ではないため、治療中の病気などの支障がなければ、70歳程度までは治療可能ではないかと思えます。

なお5歳未満の小児については、禁忌ではないものの、「やや特殊な服用方法」のため、おすすめしていません。

薬の服用方法は、タブレット状の薬剤を、「1日1回」舌下に置きます。

味は「無味無臭」とされますが、実際は「ほんのり甘い感じ」がします。



治療期間は、「3～5年（WHO推奨）」の長期にわたり、治療期間中は、状態に変わりがなくとも基本的に、「1か月に1度の通院」が必

要となります。

ただし、治療期間が短期間でも、まったく効果がないわけではありません。

最近のデータでは、治療期間3年と4年では治療効果に差が生じ、4年と5年では治療効果にあまり差が生じませんでした。

ですので、私は患者さんに『最低3年、できれば4年』と説明しています。

このように舌下免疫療法は、従来の薬のように「アレルギー性鼻炎による症状をおさえる」のが目的ではなく、「アレルギー性鼻炎にならない体質」に変えていく治療となります。

従来の薬の使用量を減らしたり、また、全く使わなくてもよい状態にするのが目的となります。

「体質改善」を目指す治療ですので、長期にわたる治療期間が必要となるのです。

ちなみに私自身ですが、現在「スギ花粉」の舌下免疫療法を続けております。

この文章を執筆時、開始してほぼ2年となりますが、昨年、および今シーズンの花粉の時期は、

ほぼ従来のアレルギー薬を使わなくても過ごせました。

私の例でもお分かりの通り、「3～4年治療を行わなければ効果が出ない」わけではなく、治療開始後、少しずつ効果は出てきます。

「効果を定着」させるため、長期の治療継続が必要とされています。

スギ花粉に対する舌下免疫療法は、「1シーズン目」から一定の効果があられると言われております。

ダニに対する舌下免疫療法は、治療開始後半年程度で効果があらわれ始めるとされています。

なお、スギ花粉に対する舌下免疫療法は、「スギ花粉が飛散していない時期」の開始が条件ですので、当院では「6月～12月のあいだ」に治療開始を行っています。

治療開始後は、スギ花粉が飛んでいる時期、飛んでいない時期も含め、ずっと薬を服用していきます。

ダニに対する舌下免疫療法は基本的に、1年中どこでも、治療開始可能です。

コラム②、③でもお話しした通り、私は特に、「子供のアレルギー性鼻炎」の発見、治療がとても重要だと考えています。

継続した治療を行いたいのですが、子供さん、学校が忙しくなる中学生くらいになると、次第に耳鼻いんこう科から足が遠のきます。

アレルギー性鼻炎の状態が続いているのに、治療が「強制終了」されてしまうのです。

ぜひとも、子供さんが小学校にあがるころまでにこの治療を開始し、「小学生のあいだにアレルギー性鼻炎を治す」のが理想だと考えています。

高松市は中学生まで外来医療費の助成があるため、この間は費用面でも有利だと思います。

なお舌下免疫療法の詳細については、

[アレルギー免疫療法ナビ](https://www.torii-alg.jp/) (https://www.torii-alg.jp/)

もご参照くださいね。

今回はここまで。

次回は、「子供が「中耳炎」と言われたら…」です。

誤解が多い子供の中耳炎について、お話ししますね。